

IPC 公認 2013 ジャパンパラ水泳競技大会 開催要綱

- 1 目 的 障がい者の水泳競技の競技力向上を図るため、国際規則に則った高いレベルの競技会を開催し、国内の水泳競技への志向意欲をより高めるとともに、広く社会参加の促進に資することを目的とする。
- 2 大会名 2013 ジャパンパラ水泳競技大会
- 3 主 催 公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
一般社団法人日本身体障がい者水泳連盟 日本知的障害者水泳連盟 日本ろう者水泳協会
大阪府障がい者スポーツ振興協会
- 4 主 管 一般財団法人大阪水泳協会
- 5 後 援 厚生労働省 文部科学省 大阪府 大阪市 門真市 大阪府市長会 大阪府町村長会

予定

 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会 門真市教育委員会 公益財団法人日本体育協会
公益財団法人日本オリンピック委員会 公益財団法人日本水泳連盟
一般社団法人日本マスターズ水泳協会 一般財団法人全日本ろうあ連盟
全国聾学校体育連盟 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
- 6 JPC オフィシャルパートナー
ヤフー株式会社 日本航空株式会社 JA共済連 トラスコ中山株式会社
西濃シエンカー株式会社 田中貴金属グループ 東京ガス株式会社
- 7 JPC オフィシャルサポーター
カリフォルニア・レーズン協会 日野薬品株式会社 株式会社富士住建
株式会社グロリアツアーズ 株式会社JTB コーポレートセールス 大塚製薬株式会社
ビタカイン製薬株式会社 株式会社シーエーシー 株式会社福祉施設共済会
株式会社アルファテック・パシフィック 全労済 株式会社ティーガイア 株式会社コメ兵
エイバックス・グループ・ホールディングス株式会社 葉隠勇進株式会社
- 8 協 力 大阪府障がい者スポーツセンター・スポーツ振興部 大阪府立障がい者交流促進センター

予定

 大阪障害者スポーツ指導者協議会
- 9 期 間 平成25年7月14日(日)～15日(月・祝) (13日(土)クラス分け・練習)
- 10 会 場 大阪府立門真スポーツセンター なみはやドーム (50mメインプール)
大阪府門真市三ツ島3丁目7番16号 Tel 072-881-3715
- 11 実施種目 別紙「実施種目及び標準記録一覧表」による。
- 12 参加資格・制限
身体障がい者については、次の(1)～(3)の条件を満たす者、または(4)、(5)に該当する者。知的障がい者については、(1)及び(6)の条件を満たす者、または(5)に該当する者。聴覚障がい者については(1)及び(7)の条件を

満たす者、または(5)に該当する者。

- (1) 身体障害者手帳または療育手帳を所持している者で、2013年度(一社)日本身体障がい者水泳連盟または日本知的障害者水泳連盟、日本ろう者水泳協会に選手登録をしている者
- (2) 身体障がい者については、次の競技会のいずれかにおいて1種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
 - ・平成24年度 第12回全国障害者スポーツ大会(岐阜大会) 第29回日本身体障害者水泳選手権大会
2012 ロンドンパラリンピック大会等 2012年度に開催されたIPC公認大会
 - ・平成25年度 第22回東北障害者選手権水泳競技大会 5月末日以前のIPC公認大会
- (3) 身体障がい者についてはIPCの規則に基づくクラス分け(肢体不自由・視覚障害)が済まされていること。(国際大会に出場した選手、FCSクラス分けを受けた選手以外はクラス分けが済まされていないものとして扱う。)
- (4) 身体障がい者について、大会当日19歳以下の選手で別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達していない者については、50m自由形のみオープン種目として参加できる。ただし、その出場資格は第29回日本身体障害者水泳選手権大会の標準記録を達成したのものとする。また、(一社)日本身体障がい者水泳連盟の育成Bに指定されている選手も50m自由形・100m自由形・100m平泳ぎの予選のみオープン種目として参加できる。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (5) 公益財団法人日本障害者スポーツ協会から推薦を受けた者。
- (6) 知的障がい者については、次のいずれかの競技会において1種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
 - ・平成24年度 第29回日本身体障害者水泳選手権大会 第12回全国障害者スポーツ大会(岐阜大会)
第15回日本知的障害者水泳短水路大会 第2回JSCA全国知的障害者水泳競技大会
平成24年度JSFD水泳記録会(富士)
2012 ロンドンパラリンピック大会等 2012年度に開催されたIPC公認大会
 - ・平成25年度 日本マスターズ水泳短水路大会(6月10日以前の大会) IPC公認大会
- (7) 聴覚障がい者については、次のいずれかの競技会もしくは(2)の競技会において1種目以上、別紙「実施種目及び標準記録一覧表」に示す標準記録に達している者。
 - ・平成24年度 第7回日本ろう者水泳選手権大会
 - ・平成25年度 日本マスターズ水泳短水路大会(6月10日以前の大会)

※ 聴覚障がい者について50mバタフライ、50m背泳ぎ、50m平泳ぎは予選のみオープン種目として参加できる。出場者は他の種目で標準記録を突破している者に限る。(表彰対象とはならないが、記録証は発行される。)
- (8) 1人4種目以内とする。
なお、傷病または不測の事態等の正当な理由なく棄権することは認められないので注意すること

13 競技方法

予選、決勝を行う。予選は全員出場することとし、クラスに関係なく申請タイムランク順に行う。予選において同クラスに9名以上の選手が出場する場合は、同クラスの予選8位以内の選手が決勝に進出できる。予選の同クラスに8名以内の選手が出場する場合は、予選において参加標準記録以内のタイムで泳いだ選手のみが決勝に進出できる。決勝はクラスごとに順位を決定する。

14 競技規則

S1～S14はIPC水泳競技規則による。
その他の障害はFINAに準拠した日本水泳連盟競泳競技規則による。

15 参加料

一人3,000円とする。

16 申込方法

別添「申込書」、「誓約書」に必要事項を記載のうえ、参加料（現金書留または郵便小為替）を添えて下記に申し込むこと。

(1) 申込み締切り期日 平成25年6月5日（水）必着

※ 締切り日までの大会で標準記録を切っているものは締切り日までに申し込むこと。ただし、身体障がい者で参加条件（2）の例外として下記①及び②の大会で初めて標準記録を突破した者に限り、それぞれ該当する締切り期日まで申し込みを受け付ける。また、知的障害者においても参加条件（6）の例外として「第16回日本知的障害者水泳選手権大会」と「第20回中部障がい者水泳選手権大会」で初めて標準記録を突破した者に限り、平成25年6月17日（月）必着で申し込みを受け付ける。

- ① 第20回中部障がい者水泳選手権大会、第19回中国四国身体障害者水泳選手権大会、第24回九州身体障害者水泳選手権大会は平成25年6月17日（月）必着で締切りとする。
- ② 第24回近畿身体障害者水泳選手権大会、第27回関東身体障害者水泳選手権大会は、それぞれ閉会式終了後30分以内とする。

(2) 申込み先 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-14-9 三星ビル5F
公益財団法人日本障害者スポーツ協会 2013JP水泳大会事務局

※ 申込書は必ず郵送すること。

※ 上記（1）-①はFAXで仮申し込み後すぐに郵送すること。上記（1）-②は大会当時に会場で受け付けるので、申込書類一式を会場に設置したJP大会申し込み受付に提出すること。

※ 参加料は必ず申込時に納入すること。また、一旦納入された参加料は、主催者の責による事由で大会を中止した場合以外、参加資格に満たない場合も含め、原則として返金しない。

※ 「申込書」「誓約書」など必要書類が提出されていない場合や必要事項に記載がない場合、また、出場資格・制限などに該当しない場合は申し込みを受け付けない。

※ 出場の可否については、6月18日頃に書面により通知する。6月22日までに通知が届かない場合は事務局まで連絡すること。ただし上記（1）-②については受付当日に通知する。

17 クラス分け (1) ステイタス「L」の肢体不自由の選手と視覚障害の選手はクラス分けを受けなければならない。その他、日本身体障がい者水泳連盟より連絡のある選手はクラス分けを受けなければならない。尚、時間調整は困難なので、クラス分け受検者は、必ず13日の以下の時間を確保しておくこと。※時間の変更は原則認めない。

クラス分けの詳細については別途日本身体障がい者水泳連盟より連絡する。

- ① 肢体不自由 7月13日（土）10時～18時（予定）
- ② 視覚障害 7月13日（土）午後（予定）

(2) 会場：大阪府立門真スポーツセンター なみはやドーム

18 ドーピング検査 (以下、JADAからの注意喚起文による)

- 本競技会は、日本ドーピング防止規程に基づくドーピング検査対象大会である。参加者は、競技会にエントリーした時点で日本ドーピング防止規程に従い、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- また、未成年者である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった等の場合、ドーピング防止規則違反となる可能性がある。ドーピング防止規則違反と判断された場合には、日本ドーピング防止規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 日本ドーピング防止規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング

機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

(注) 選手の事情で検査時間が延長したために、予定した交通機関を利用できなくなった場合の費用負担は、日本アンチ・ドーピング機構、および大会主催者で対応することが出来ないため、移動チケット等の手配の際には十分注意すること。

- 19 表彰** (1) 男女別種目別に1位、2位及び3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加者が2名の種目は1位のみ、3名の種目は2位までにメダルを授与する。オープン競技にはメダルは授与しない。
(2) 参加者全員(オープン種目を含む)に記録証を発行する。

20 競技日程(予定)

平成25年7月13日(土) クラス分け 練習

平成25年7月14日(日) 開会式 10時 競技開始 10時45分

平成25年7月15日(月・祝) 競技開始10時 閉会式 16時(予定)

競技順序(予定)

14日(日)		
午前	(1) 女子50m平泳ぎ(OP含む)	予選
	(2) 男子50m平泳ぎ(OP含む)	予選
	(3) 女子100m平泳ぎ	予選
	(4) 男子100m平泳ぎ	予選
	(5) 女子150m個人メドレー	予選
	(6) 男子150m個人メドレー	予選
	(7) 女子200m個人メドレー	予選
	(8) 男子200m個人メドレー	予選
	(9) 女子50m自由形(OP含む)	予選
	(10) 男子50m自由形(OP含む)	予選
	(11) 女子400m自由形	予選
	(12) 男子400m自由形	予選
午後	(1) 女子50m平泳ぎ(OP含む)	決勝
	(2) 男子50m平泳ぎ(OP含む)	決勝
	(3) 女子100m平泳ぎ	決勝
	(4) 男子100m平泳ぎ	決勝
	(5) 女子150m個人メドレー	決勝
	(6) 男子150m個人メドレー	決勝
	(7) 女子200m個人メドレー	決勝
	(8) 男子200m個人メドレー	決勝
	(9) 女子50m自由形(OP含む)	決勝
	(10) 男子50m自由形(OP含む)	決勝
	(11) 女子400m自由形	決勝
	(12) 男子400m自由形	決勝

15日(月)		
午前	(1) 女子200m自由形	予選
	(2) 男子200m自由形	予選
	(3) 女子50m背泳ぎ(OP含む)	予選
	(4) 男子50m背泳ぎ(OP含む)	予選
	(5) 女子100m背泳ぎ	予選
	(6) 男子100m背泳ぎ	予選
	(7) 女子50mバタフライ(OP含む)	予選
	(8) 男子50mバタフライ(OP含む)	予選
	(9) 女子100mバタフライ	予選
	(10) 男子100mバタフライ	予選
	(11) 女子100m自由形	予選
	(12) 男子100m自由形	予選
午後	(1) 女子200m自由形	決勝
	(2) 男子200m自由形	決勝
	(3) 女子50m背泳ぎ(OP含む)	決勝
	(4) 男子50m背泳ぎ(OP含む)	決勝
	(5) 女子100m背泳ぎ	決勝
	(6) 男子100m背泳ぎ	決勝
	(7) 女子50mバタフライ(OP含む)	決勝
	(8) 男子50mバタフライ(OP含む)	決勝
	(9) 女子100mバタフライ	決勝
	(10) 男子100mバタフライ	決勝
	(11) 女子100m自由形	決勝
	(12) 男子100m自由形	決勝

21 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、主催者が定める「個人情報保護取扱規程」に基づき取り扱う。なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び水泳競技に必要な連絡等に利用する。

22 傷害保険への加入について

主催者において期間中(平成25年7月13日~15日)の傷害保険に一括加入する(保険内容:死亡・後遺障害1,000万円、入院5,000円、通院3,000円)。これ以上の補償を望む場合には、各自で別途保険に加入すること。大会では、応急処置しかできないので、参加に当たっては、医師の診断を受けるなど、自己の責任において健康と安全については十分留意すること。

23 競技に関する情報

- (1) 本大会はIPC Swimming 公認大会として実施する。
- (2) IPC Swimmingライセンス登録及び国際クラス分けが終了している選手の記録はIPC公認記録となる。
- (3) 本大会の水着に関する規程は、原則としてすべてFINA及びIPCの競技規則による。
- (4) プール内の室温は30度位、水温28度位、プールの水深は2mとする。
- (5) 競技会場の練習は次の通りとする。

7月13日(土)	メインプール	13時から18時
7月14日(日)・15日(月祝)	メインプール	9時から9時40分・昼食時間
	飛び込みプール	9時から17時

※サブプール(飛び込みプール25m)は、開会式及び閉会式を除き常時利用できる。

- (6) 受付時間は次のとおりとする。

7月13日(土)	12:30~17:00	1階更衣室前	
7月14日(日)	8:30~10:00	1階更衣室前	10:00以降 2階総合受付
7月15日(月祝)	8:30~10:00	1階更衣室前	10:00以降 2階総合受付

※14日と15日の会場開館は、選手・関係者のみ8:30、一般・観客等は9:00となる。

- (7) 本大会の予選について、選手の名前やコースはあらかじめプログラムに記載されている。決勝については予選終了後に選手の名前やコースなどを、2階総合受付とプール入り口に掲示する。
競技は原則として、女子・男子の順にクラス番号順に行う。
- (8) 招集は、競技予定時刻の20分前に行う。棄権の場合は、招集時間の1時間前までに、決勝を棄権する場合は予選終了後1時間以内に、それぞれ招集員に届けること。また、他の種目出場等の理由により、時間に間に合わない場合も必ず届出を提出すること。
- (9) 手話通訳者は、招集と表彰場所に配置する。
- (10) 本大会の記録、氏名、付与されたクラス、特記事項などは協会及び連盟ホームページなどに掲載する。

24 その他

- (1) 本大会の成績は今後の国際大会日本代表選手の参考資料とする。
- (2) 大会当日の昼食は各自で用意すること。
- (3) なみはやドーム駐車場について
 - ・障がい者の使用は無料(なみはやドーム受付に障害者手帳の提示が必要)
 - ・使用料金:1時間 360円
- (4) 宿泊については、主催者(日本障害者スポーツ協会)より斡旋する。希望者は別紙「宿泊案内」を参照のうえ、「宿泊申込書」に必要事項を記載し、期日までに申し込むこと。
- (5) 問い合わせは下記とするが全てFAXによること。FAXの宛名は「2013JP水泳大会」とすること。
 - ①競技関係 (各自登録している団体へ問い合わせること)

日本身体障がい者水泳連盟	078-855-6621 (担当:猪飼)
(日本身体障がい者水泳連盟からの注意事項を連盟ホームページでよく確認すること)	
日本知的障害者水泳連盟	03-3615-5584 (担当:及川)
日本ろう者水泳協会	075-574-3071 (担当:豊田)
 - ②宿泊関係 JTBJ-ホールセール第九事業部 03-5909-8100 (担当:大塚・石山)
 - ③その他 日本障害者スポーツ協会 03-5641-1213 (担当:長谷部)

本大会の申し込み要綱は、日本障害者スポーツ協会ホームページからダウンロードすることができます。<http://www.jsad.or.jp/news/category/cat032013.html>